

# 研究のまど No.5

山口市立大内小学校 教諭 西村史代  
(やまぐち総合教育支援センター長期研修教員)

みなさま、こんにちは。西村史代です。今年度も残りわずかとなり、この研究もいよいよ大詰めを迎えています。今回は、SIO（ストップいじめ大内小）実行委員会についてお知らせします。

## ■ 始まりは、1学期の授業から

SIOの始まりは、1学期の授業で「6年生が考えたいじめを生まない方法をどのようにして学校全体に広めていくか」を考えたことでした。授業の振り返りを読むと、「せっかく考えたのだから実行していきたい」という思いをもっている児童が多くいました。加えて私自身も「考えただけで終わるのではなく、できれば実際に行動しながら考えを深め、成長してほしい」という願いをもっていました。そこで、6年生が考えた11の方法（下記参照）について具体的な行動計画を立てる組織を立ち上げることにしました。この組織が、SIOです。

- 1 集会を開いて、劇「SIO～いじめをなくす～」をする（1と9のメンバー9人で合同実施）
- 2 6年生が下級生に授業をする（「いじめの定義」「いじめの禁止」のプレゼン及び劇）
- 3 ビデオやクイズにまとめて放送する（「いじめの定義」「いじめの禁止」の劇及びクイズ）
- 4 ポスターを作り、各学級や掲示板に掲示する
- 5 代表委員会の議題にする（各クラスで「いじめを生まないためにクラス及び個人でできる取組」を出し合い、代表委員会で話し合い）
- 6 紙しばいを作る
- 7 6年生が下級生の相談を聞く「あのね相談室」をする（2月及び3月の「いじめをなくそう週間」の期間中に実施）
- 8 月曜日に読み聞かせをする（全クラスで実施）
- 9 「いじめなくし隊」を作って、困っている人がいないかを見回る（2月及び3月に実施）
- 10 「いじめをなくそう週間」を設ける（2月及び3月の第2週を設定）
- 11 「いじめダメ10箇条」を作る

## ■ そして、2学期

運動会が終わって少し落ち着いた9月下旬に、6年生全員に実行委員募集のプリントを配付したところ、学年の半数近くに当たる54人が集まりました。そして、陸上記録会や音楽会といった行事が一段落した11月中旬から上記の11の取組別のグループに分かれて話し合い、実施時期及び場所等の具体的な行動計画を立てました。この話し合い活動は、昼休みを利用して数回行いました。6年担任も毎回参加して、児童の思いを尊重しながら実践に向けての助言を行いました。取組別のグループの人数は、4～5人と少人数だったため、児童は活発にコミュニケーションをとりながら話し合いを進め、行動計画を完成させることができました。



児童が立てた11の行動計画の中で私が特に注目したのは、「いじめなくし隊」を6年生だけではなく、4・5年生からも募集しようとしたことです。上学年である4～6年生が力を合わせて「いじめを生まない学校づくり」をしていこうと考えた児童のアイデアにとっても感心しました。また、11の取組のうちいくつかは、3学期の総合的な学習の時間の学習内容と関連があるので、総合的な学習の時間を使って実践することにしました。

今回は、現在行っている3学期の実際の取組状況についてお知らせします。